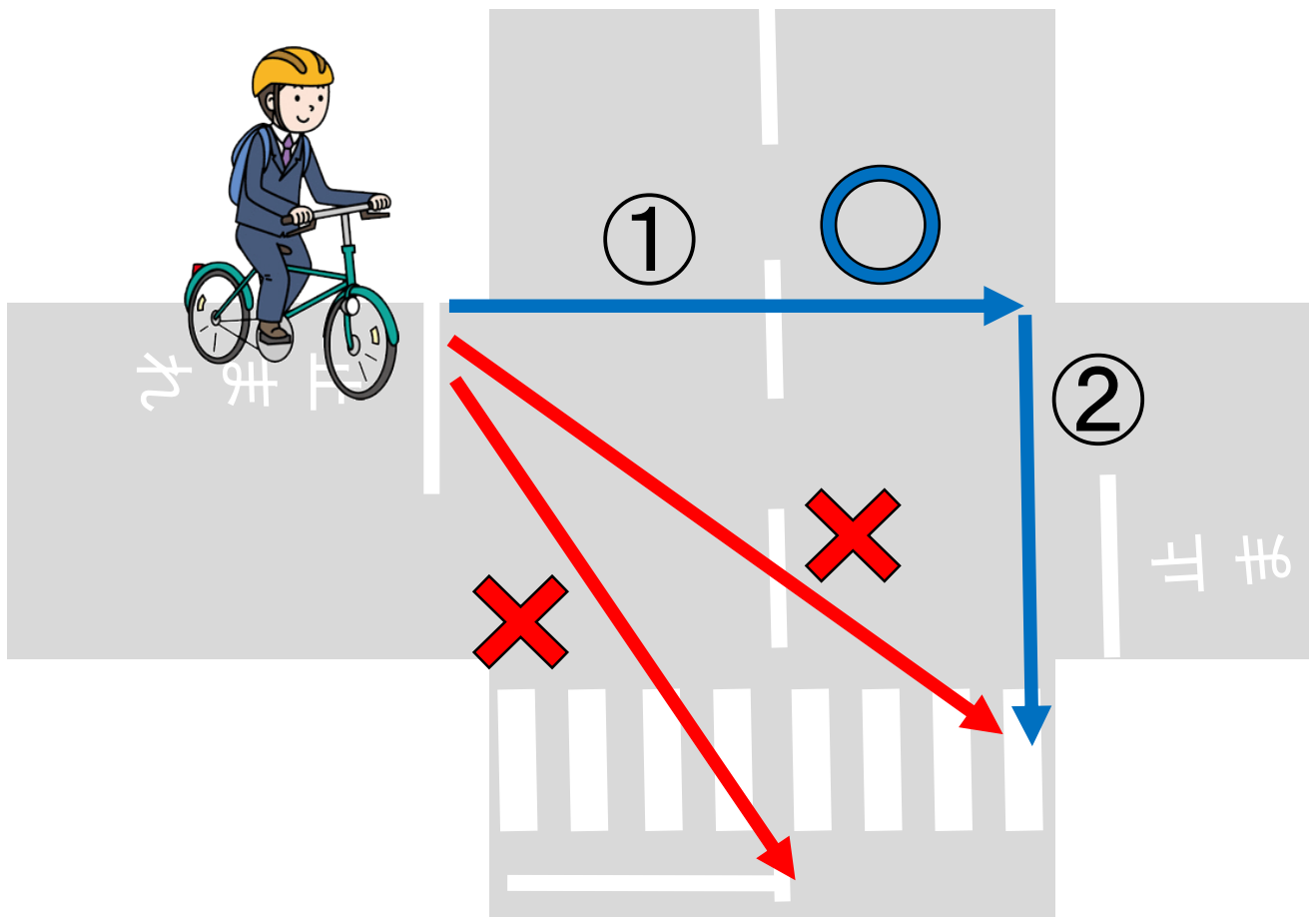


自転車の交通ルールについて②

信号機がない交差点を右折する場合



信号機がない交差点を右折するときは、交差点の端に沿って、大回りに徐行して通行してください。

安全をよく確認して

- ① 十分に速度を落として交差点の向こう側までまっすぐ進んでから
- ② 右折（曲がり）ます

交差点を内回りに通行することは、自転車が自動車に比べ速度が遅いことなどから危険です。歩行者に準じた通行をするのが安全です。

次回は、「自転車の交通ルールについて③」です。

自転車の交通ルールについて③

自転車の「ながら運転」は危険です。

例1 スマートホンを使用しながらの運転



スマートホンを見ながらの運転や通話しながらの運転は、ハンドルやブレーキを確実に操作することができないため危険です。

自分だけでなく周りの人も危険な目にあわせることにもなりかねません。

例2 イヤホンを使用しながらの運転

イヤホンで音楽等を聴きながらの運転は、緊急走行中の救急車やパトカーの接近に気づくのが遅れるなど、周囲の音が聞こえにくくなるため危険です。



自転車運転中の「ながら運転」は、周囲が見えにくい、音が聞こえにくい、注意がおろそかになるなどの危険があります。交通事故の原因になりますので絶対にやめましょう。

次回は、「電動アシスト自転車について」です。

電動アシスト自転車について

特 性 と 注 意 点

人力+電動モーターの
アシスト付きのため加速
が良い



時速24kmになると電動モーター
が作動しなくなる（電動アシス
トが効かない）

自転車の重量+バッテリー等が
加わり重量が増えている

一見よくある自転車だが、バッ
テリー等が付いている

◎ こぎだしの加速が良い（押されている感覚です）の
で、周囲に歩行者等がいる場合は、衝突に注意して
ください。

電動アシスト自転車は、坂道や重い荷物を載せるときなど
とても便利で快適です。しかし、その特性を知らずに、今ま
で利用していた自転車と同じ感覚で利用すると、大きな事故
につながるおそれがありますので注意してください。

次回は、「反射材の活用について」です。

反射材の活用について

歩行者や自転車利用者は反射材を着用して身を守りましょう。



- この季節、夕暮れ時は周囲の視界が徐々に悪くなり、自動車や自転車、歩行者などの発見がお互いに遅れたり、距離や速度が分かりにくくなります。
- 歩行者や自転車利用者は、交通事故に遭わないようにするため、明るい目立つ色の衣服を着用したり、反射材・ライトを靴、衣服、カバン、つえなどにつけて活用すると効果的です。
- そのほか、道路を横断するときや自動車とすれ違うときは、昼間と比べて一層注意しましょう。

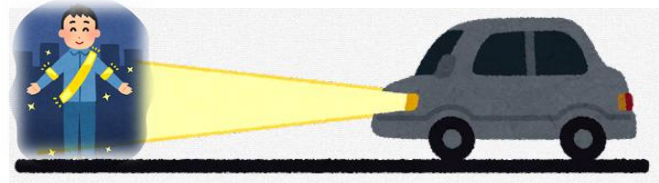
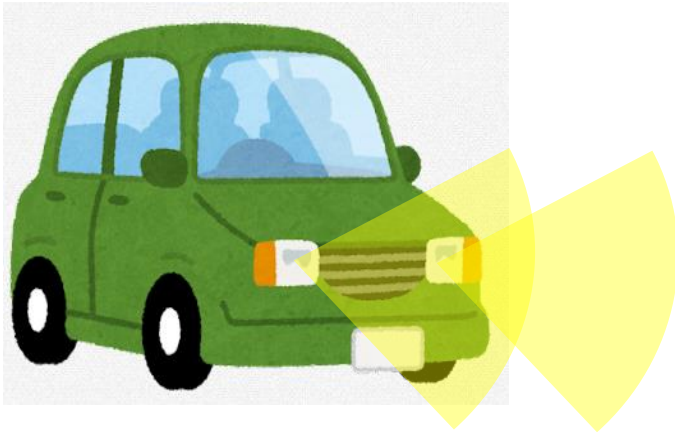
次回は、「夕暮れ時、夜間の交通事故防止について」です。

伊勢市交通政策課だより

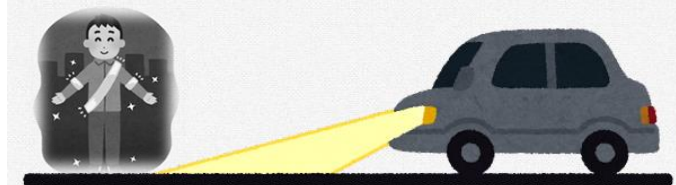
No.20

夕暮れ時、夜間の交通事故防止について

～車両運転者のみなさんへ～



ハイビームの照射距離は約100m



ロービームの照射距離は約40m

夕暮れ時は交通事故が多発する傾向にあるため、**早めにライトを点灯**しましょう。

歩行者や道路上の危険をいち早く発見できるよう**ハイビーム**を使用して交通事故を防止しましょう。

- 日没の少し前からライトを点灯し、見るための**ライトを、見せるためにも活用**しましょう。
- 夜間は、歩行者等をいち早く発見できるようハイビームを使用しましょう。ただし、対向車と行き違う際や、他の車の直後を通行する際、交通量の多い市街地等を通行する際は、ロービームに切り替えましょう。
- 夜間は昼間に比べて視界が悪くなるため、歩行者等の発見が遅れるうえ速度感が鈍り、速度超過になりがちですので、**昼間より速度を落として慎重に運転**をしましょう。

次回は、「道路で遊ぶのは危険」です。